

月島路地マップ

明石町

とんじりのまちと知られている月島ですが、その最大の特徴は路地がたくさんあるところである。路地は狭いので車が通ってこない、ゆっくりとした時間が楽しめる。そこには、種不斜がたくさん並べられていて、道ゆく人の目を惹きつけてくれる。また、おにいちゃんやおねえちゃんたちをたくさん見ることができる。

眺望橋

東京タワーとスカイツリーが両方見える場所

隅田川



コンバージョン倉庫

佃島
干堀を10年以上の歳月をかけて1644年に完成。「種の不斜、長尺などたくさん盛った」と伝えられている。

旧人足市場
石川大隅守屋敷の御邸に1790年に建られた。

石川島
1676年に石川大隅守が「狸島」と呼んでいた島を屋敷地として与えられた。

石川島灯台
伝統的な石壁造り
100年以上の歴史あり
3年に一度の例大祭はすさまじい熱気

繁華の匂いが漂っている
佃天台地蔵堂
佃小学校
佃島中学校

佃大橋
佃大橋駅
佃地区民館

佃島神社
佃島小学校
佃島中学校

佃島地区民館
佃島小学校
佃島中学校

新佃島
1896年（明治29年）埋立完成
レバーフライの音のままの神社
水際まで下りられる中の島公園

相生橋
音のままの神社
水際まで下りられる中の島公園

石垣長屋
門赤川長屋
相模川
門赤川長屋
相模川

石垣長屋
門赤川長屋
相模川
門赤川長屋
相模川



東京タワーとスカイツリーが両方見える場所

月島の理し

三間通り
リノベーション長屋 八百八
月島住宅地
月島住宅地
月島住宅地

とんじり屋
西洋通りにたくさんある
西洋兵舎
有名なお飲み屋
月島神社
おむすび屋

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

丸屋型長屋
風情のある酒屋
手ぬぐい屋
コンバージョン

当知から20間(36m)あったが、知事が通っていたので「電音通り」と呼ばれていた。

中央区役所
月島特別出張所
月島図書館

月島保育園
月島区民館
古いクレーン
運河から荷揚げした

月島(1号地)
1892年（明治25年）埋立完成。日本初の近代都市計画である「市区改正計画」により誕生。

水辺でゆっくりと過ごすことができる。

水辺でゆっくりと過ごすことができる。

水辺でゆっくりと過ごすことができる。

朝潮運河

朝潮大橋

旧野木場

月島路地マップ



路地と長屋

低島の高地は、狭い島の中に住宅が詰め込まれるように建てられているため1m程度の幅しかない。元々島は、住吉神社を囲って約35筆に分断し宅地化された。それが人口増加と共に密集して住宅が建てられるようになり、しだいに路地がつかられていった。奥行き20程度の街区の長手方向に、4〜8間を単位として路地と住宅がつくられていく。路地からの各住宅への入口は路地側にあり、建物の北側にはなるべく窓をつくらないという習慣がある。

低島は、関東大震災の時も損失しなかった。震災月を経て飛んできた火の粉を、住民が結果して消火したと伝えられている。路地は非常に狭いので、今でも「バケツリレー」での消火訓練が行われている。

月島の路地は、低島の路地以上に規則的に貫通している。近代都市計画でつくられた島であるが、その分割りは江戸期に見られた「一町街区」(約120m四方)を基本単位として分割された。道路部分を除くと、一つの街区の大きさは約40間である。更に正方形の街区を二つに分断する3間道路がつくられた。この街区の大きさは、工場や倉庫を建設するにはちょうど良かったが、宅地には大きすぎた。そこで街区の長辺方向を6つに分断し、縦横状になった敷地割りの中央に路地を通し、両側に長屋が建設されていった。路地の幅は1間から9尺で、これは地味の種類によるものである。路地の50m程度の長さがあり、その1本あたり24種類の長屋が建ち並んでいる。

長屋の標準的な間口は、1住戸あたり2間で、奥行きは3.5間程度である。2軒から4軒長屋が多くつくられる。1住戸あたり約10坪の床面積は44坪程度と狭いが、1間と2間を別々に貫通することや、更に2間を二つに分断して賃貸することが多かった。

路地あるきの心得

一、路地は私有地という意識を持ちましょう。

二、静かに通行しましょう。

三、住人の方や通行人と会ったときはあいさつ(会釈)をしましょう。

四、話しかけられたときは笑顔で対応しましょう。

五、通行人や自転車には道をゆずりましょう。

五ヶ条



月島の長屋



飲食店一覧

- 焼鳥屋 カワシヤ
- もんじゃや いろは
- 大江戸洋食 ぶらり
- ぶらり くるし
- 東京 宝島
- つきまご亭 徳勝
- パンビ まるふ
- かつみ 好美家

月島西仲共栄会商店街振興組合

2011年10月9日(日) 12:00 ~ 17:00	2011年10月16日(日) 13:00 開場 13:30 開演
「よりどりみどり市」	「CHOHO-THE-VARIETY」
● 無料名物展 グルメコーナー ● 無料あいっぴい♪ お遊びコーナー	会場：月島社会教育会館 4階ホール ● 無料子ども動物園 他

〒110-0052 東京都中央区月島3-9-12
TEL 03-3531-9019 FAX 03-3531-9990
URL: <http://www.tsukishima.com>

月島もんじゃ振興会協同組合

2011年10月1日(土)~9日(日)
もんじゃありがとうフェア
「もんじゃを食べて海外旅行」

〒110-0052 東京都中央区月島1-6-1-103
TEL 03-3532-1990 FAX 03-3532-2090
URL: <http://www.monja.jp/>



路地の構成

歴史

豊石川島

江戸幕府の船手屋であった石川八左衛門正次が、1626年に「低島」と呼ばれていた無人島を幕府から買収地として買収された。現在の天川通りパーシオの三軒半敷地によるテラスマンション建設が林であるあたりである。石川八左衛門正次は住人の持ち主であった。それにまつわる興味深いエピソードが「石川島資料館」に展示されている。日本橋から葛西島あたりが、当時の幕府海軍基地だったため、この石川島は軍用地ではなかったが、幕府海軍の船着き場と位置づけられた。現在の新川に「豊神島水産研究所」が設置されたのは、江戸時代から、そのあたりが江戸湾の中心だったからである。島にはいくつかの堀があったようであり、それらは堀を伸ばさせておく「堀入堀」だったと考えられる。「豊平公園」で有名な長寿川平野の裏面の裏面として1700年につくられたとされる人工芝場は、石川島の中にあった庭園を造成してつくられた。現在の部分堀の各中線員があるあたりは埋立地である。

豊島

1630年、旗本屋(現在の大阪)佃村を中心とした通商村が、石川島の南の千鳥宮前四方を幕府からもらった。通商村は島の合衆に居住を促すことなど島を通ったと言われており、1644年に造成が完了した。

島は、大の二つの部分がつくられ、その間が堀入である。現在もそれは堀入堀として使われており、通商村の面影を残している。

現在はカヌーリ線があるので分りづらいが、江戸の町を正面として町が構成されている。月島の島の北端側である住吉神社は江戸時代、江戸城がのり、江戸湾の方向を向いている。南の平型に分割されており、住吉神社の北端が「上町」で、隅田川寄りの方が敷地割りが大きい。祭りの時の御でてる。江戸の町から見て南側に広がって見えるように配置されている。

豊島

東京の近代化以降に最初につくられた埋立地である。1687年に着手された埋立は、大幅に縮小された東京湾埋立計画の一部であり、隅田川の湾曲いよを兼ねていた。埋立完了後は1692年と言われており、その年に東京市改正委員会で月島の分割計画が協議されていることから、我が国初の近代都市計画である市区改正計画によって誕生したことによる。

第一次世界大戦が始まった頃までに、多くの工場や倉庫が建設された。そこで働く労働者たちのための住宅が大量に必要になり、現在も残っている路地と長屋がつかられていった。西仲通り商店街は、石川島にあった通商村と月島3丁目にあった石井鉄工所の間に形成されたものである。

1936年に埋立が完了した新低島の東側は、かつて風見鳥橋なことから埋立地であった。

この地図は、路地が数多くある月島のまちを大切にしたいという気持ちからつくられたものです。路地は生活の基盤だけではなく、このまちのコミュニティの資産です。路地がなくなってしまうと、月島の良さも失われてしまうと思います。この地図をつかって月島のまちを楽しくして下さい。そして、路地が賑わうように頑張ってください。